

## 施策評価調書(21年度実績)

政策体系	施策名	ものづくり産業の振興	施策コード	Ⅲ-1-(1)
	政策名	活力を創造する商工業等の振興	主管部局名	商工労働部
			担当課室名	工業振興課
施策概要	<p>地場企業が行う技術力向上や競争力強化への支援、戦略的な企業立地の推進、新しいビジネスに挑戦するベンチャー企業の創出・育成、産業廃棄物等を再資源化して活用する循環型環境産業の育成など、産業集積に活力を与える環境の整備を進める。また、地域資源を活用して商品の高付加価値化に取り組む企業を支援し、地域資源活用型企業の育成を図る。</p> <p>また、地場企業の体質強化のため、IT化による生産管理の向上や情報共有化を促進し、地場企業のIT活用を積極的に支援する。</p>			

### 【評価指標】

主な取組		指標	基準値		21年度			22年度	27年度	
			年度	基準値	目標値a	実績b	b/a	目標値	目標値	
①	先端的なものづくり産業の集積	i	株式公開企業数	H16	7	9	7	77.8%	10	12
		ii	県内特許出願件数(平成15年以降)	H15	179	1,498	1,230	82.1%	1,740	3,030
		iii	産学官共同研究数	H16	50	70	120	171.4%	80	100
②	産業集積のための環境整備	i	株式公開企業数	H16	7	9	7	77.8%	10	12
		ii	県内特許出願件数(平成15年以降)	H15	179	1,498	1,230	82.1%	1,740	3,030
		iii	産学官共同研究数	H16	50	70	120	171.4%	80	100
③	地域資源活用型産業の育成	iv	食品産業研究所の指導育成件数	H16	290	312	716	229.5%	320	350
④	戦略的・効果的な企業立地の推進	v	企業誘致件数	H16	20	-	19	-	-	-
						平均達成率(%)	140.2%			

### 【業績評価】

No.	業 績 評 価			平均 評価
i	著しく不十分	株式公開をテーマとしたセミナーの開催等により株式公開の機運醸成を図ったが、株式市場の低迷、上場審査の厳格化、上場維持費用の増大など新規上場環境が厳しく、達成できなかった。		
ii	達成不十分	経費削減や秘密保持の観点から、企業が特許出願件数を絞り込んで、質の高い特許を出願しようとする動きが全国的に広がりがつつあり、目標値を達成できなかった。		
iii	達成	産学官連携推進会議やものづくり大分産学交流会を通じた産学交流や共同研究に対する支援、大学との連携及び大学の意識改革等により目標値を上回った。		
iv	達成	地域資源を活用した商品開発や農商工連携への支援強化や、積極的な新規企業の訪問等により相談や技術指導等が増加し、目標値を上回った。		
v	-	急激な景気後退により、企業の減産、新規設備投資の凍結・縮小が進んでいる中、19件の企業進出があった。		概ね達成